



# 市議会だより

2011  
第24号  
5月20日

## 3.11 東日本大震災 早期復旧に向けて



### 目次

震災予算42億円を承認・可決	2
23年度各会計当初予算を可決	4
会派代表質問	8
ここが聞きたい(一般質問)	10

とめ市議会だより 第24号

平成23年5月20日発行

発行/宮城県登米市議会 〒987-0895 登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1  
編集/登米市議会編集委員会 ☎0220-22-1913 FAX0220-22-9225



## 登米市議会・栗原市議会・ 一関市議会議員交流会



本市と隣接する栗原市と一関市との第1回議員交流会が1月31日、一関市花泉の「れいなdeふるくれす」で開催されました。

県際地域に位置する三市は、さまざまな分野で深く関わりをもっており、地域課題を共有し、連携しあいながら交流発展することが目的。

交流会では、一関市観光戦略担当参事の近藤光則氏より「県際広域観光の取り組みについて」と題して、広域連携のしくみについて講演をいただいた。

### 2月定例会

#### 人事

人権擁護委員候補者の推薦に同意  
人権擁護委員候補者の推薦につき、適任と決定しました。

三浦 誠 幸さん (石越)  
鈴木 泰子さん (東和)

## 東日本大震災で 被災された皆様へ

このたびの東日本大震災で犠牲となられました方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に対しまして、心からお見舞いを申し上げます。

登米市議会

### 議会がらのお知らせ

## 市議会6月定例会

6月16日(木) 開会予定

議会は市政を知るよい機会です。  
お気軽に傍聴してください。

## 議会のホームページを 開設しています。

議会のホームページでは、議会の情報をお知らせしています。  
本会議の会議録(21年度以降分)もご覧いただけますので、ご利用ください。

<http://www.city.tome.miyagi.jp/gikai/gikai-index.html>

### あとがき

この度の東日本大震災は、私たちの穏やかな暮らしを襲いました。被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。地震後の停電、津波、発電所事故は更に被害を大きくし、放射能事故は今なお解決されない深刻な問題です。

まだまだ大きな余震が心配な状況ですが、備えを十分に明るく普通の毎日に回復されますようお祈りします。

#### 議会報編集特別委員会

議長	中澤 宏
副議長	佐藤 尚哉
委員	田口 久義
委員	関 孝
委員	伊藤 吉浩
委員	工藤 淳子
委員	岩淵 正宏
委員	田口 政信

「見やすく、早く伝える」を心がけて2年間努めた私たち編集委員も任期満了となりました。ご協力に深く感謝します。  
(中澤 宏)



がんばろう 登米市  
がんばろう 宮城

# 東日本大震災

# 3.11

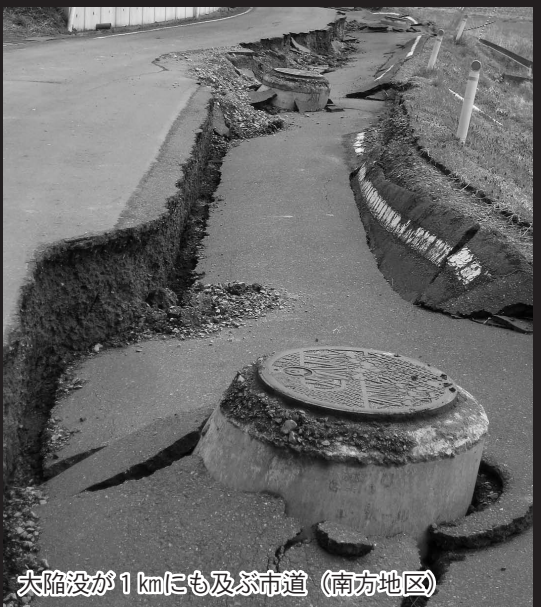
第1回  
臨時会

補正予算

# 震災予算 42億円を承認・可決



基礎がむき出しになった中津山小学校



大陥没が1kmにも及ぶ市道（南方地区）



大量に運ばれた震災ごみ



人も車も通行不能 崩落した市道

4月12日、議会臨時会が開かれ、条例の一部改正や東北地方太平洋沖地震による災害復旧経費を盛り込んだ、平成22年度一般会計補正予算など16議案の専決処分を承認。さらに、被災者を支援するための条例の制定や23年度一般会計補正予算など7議案と意見書など、原案のとおり可決しました。また、議員提案により「東日本大震災調査特別委員会の設置」を全会一致で可決しました。

支援策としては、被災者に対する市税の減免条例が提案されました。今回の補正予算は、被害状況調査委託料や災害復旧実施設計委託料が多く

盛り込まれており、災害復旧工事費はこれから予算化される予定。予算規模は100億円を超える見込みになります。

## 災害復旧等 歳出の主なもの

- 農道・ため池・有機センターなどの復旧費 (8668万円)
- 道路・橋などの復旧費 (2億6909万円)
- 小・中学校・給食センターなど学校施設復旧費 (2億3684万円)
- 公民館・体育館など社会教育施設復旧費 (1億 399万円)
- 病院事業繰出金、保健センターなど衛生施設復旧費 (3億7744万円)
- 下水道事業繰出金、観光施設・祝祭劇場などその他の公共施設の復旧費 (3億8814万円)
- 下水道施設復旧費 (3億9975万円)
- 水道施設復旧費 (5億3049万円)

- 避難所経費 (1億 927万円)
  - 災害ごみ等処理経費 (3億5974万円)
  - 災害見舞金・弔慰金など (3億7835万円)
- ※22年度補正予算と23年度補正予算の合計額を掲載。

## 議案審議

東北地方太平洋沖地震による災害被害者に対する市税の減免に関する条例

今回の大地震で被災した人に、市民税、固定資産税、国

## 特別委員会を設置

4月12日の臨時会に東日本大震災の災害対策などについて調査するため、議長を除く29人の議員で構成する「東日本大震災調査特別委員会」を設置しました。設置の期間は調査が終了するまでとし、委員長に菅原幸夫議員、副委員長に田口政信議員を選任しました。常任委員会と同じ構成の分科会で現在も継続して調査を実施しています。

民健康保険税の市税の減免を行うもの。

○ 3月11日の地震後、4月7日にも大きな余震があった。余震との関連と申請期限はいつまでか。

○ 余震での被災も対象となる。申請期限は税を賦課する段階まで対象とする。

○ 商業店舗の取り扱いは、  
A 商業店舗は被災証明を受けて、固定資産税減免の対象となる。





平成23年3月14日

平成23年度各会計予算

総額754億円を可決

2月定例会は、2月15日から3月18日までの32日間の会期で開かれました。本定例会では、条例の一部改正や22年度補正予算、23年度各会計当初予算など41議案をいずれも原案のとおり可決しました。

予算審査は、予算審査特別委員会（委員長 武田節夫議員、副委員長 金野静男議員）を設置して付託。

また、市長の施政方針に対し、4会派の代表が質問を行い、一般質問は18人の議員が市政を質しました。

平成23年度の予算編成は、経常経費の削減により政策経費の確保を図るため、一般行政経費は枠配分方式の予算編成手法を継続。政策経費では、昨年同様に新規政策事業の予算枠を確保し、市民の視点に立った事業や地域の要望事業などを厳選するとともに、昨年10月に行った行政評価外部評価の視点に基づき全事業の検証を行い、真に必要な事業に重点的に配分することを基本に編成したとしています。

**一般会計は415億3495万円を計上**

当初予算の規模は、一般会計が415億3495万円、国民健康保険特別会計など6特別会計予算の総額は223億9588万円、病院事業など3公営企業会計予算の総額は115億3938万円となり、全会計を合わせた予算総額は754億7021万円となり、前年比で0.3%増加しています。

■平成23年度各種会計の予算額

会計名	予算額	前年度比(%)
一般会計	415億3,495万円	5.2
特別会計	国民健康保険	97億1,438万円 Δ4.6
	後期高齢者医療	8億 47万円 Δ5.1
	介護保険	70億9,939万円 7.9
	土地取得	1,009万円 Δ19.3
	下水道事業	47億5,915万円 Δ2.5
	宅地造成事業	1,240万円 Δ53.5
	小計	223億9,588万円 Δ0.6
企業会計	水道事業	30億1,579万円 Δ5.8
	病院事業	81億3,285万円 Δ15.7
	老人保健施設事業	3億9,074万円 1.9
	小計	115億3,938万円 Δ12.8
合計	754億7,021万円	0.3

■一般会計歳出の主なもの

- 地域密着型介護老人福祉施設整備事業 6億5,284万円
- 認知症対応型共同生活介護施設整備事業 9,368万円
- 図書整備事業 6,591万円
- 子宮頸がんワクチン接種費用及びヒブ、小児肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業 1億152万円
- 住宅用太陽光発電システム設置事業 800万円
- 緊急雇用創出事業及びふるさと雇用再生特別基金事業 6億5,193万円
- 登米市産米販路拡大事業 2,026万円
- 農地・水保全管理支払事業及び環境保全型農業直接支援対策事業 1億4,373万円
- 住環境リフォーム助成事業 1億円
- 消防出張所整備事業 1億8,837万円
- 佐沼小学校校舎・体育館改築事業 8億6,758万円
- (仮称)西部学校給食センター建設事業 6,363万円
- 道路改良事業 14億3,054万円
- 病院事業会計への繰出金 18億9,580万円

予算審査特別委員会

附帯決議  
被災者救済  
災害復興を最優先に!!



本会議で予算審査について報告する武田委員長

予算審査特別委員会は、4日間としていた審査日程を地震の被害対応のため1日で審査。緊急動議が提出され「当初予算執行にあたり、被災者救済、災害復興を最優先に努めるよう求める」附帯決議を可決しました。

(決議文)

平成23年3月11日14時46分、三陸沖を震源とするM9.0、震度7の地震が発生しました。市内では、米山町、南方町で震度6強、迫町、登米町、東和町、中田町、豊里町で震度6弱、石越町、津山町で震度5強が観測されました。

この地震は、国内観測史上最大規模で、本震後も強い余震が断続的に続いており、震源地に近い東北・関東地域には大きなツメ痕を残し、とくに震源地に最も近い宮城県の内陸部では強い揺れ、沿岸部では10mを超える大津波の発生で未曾有の被害となりました。

登米市議会としても、災害復興に最大限の努力をするものである。

よって、平成23年度当初予算執行にあたっては、当初計画の見直しを含め、緊急性等に十分配慮し、被災者救済、災害復興を最優先に努めるよう強く求めるものとする。

23年度当初予算  
総括質疑

**特例措置期間の要望解決は**  
佐藤 勝議員

本市の建設関係予算の配分は昨年と比べ5億円以上減っており、悪影響はないか。

総合計画実施計画のローリングの中で財政状況と照らし合せ見直しを行いながら事業推進を行う。

交付税の特例措置期間もあと4年である。懸案となっている道路改良など地域要望は解決できるか。

合併後10年以内の整備計画路線は628路線、うち実施は200路線である。計画路線に優先順位を付し、順次整備する。

げは時間の問題ではないか。

管路延長が長いこと。広域に及ぶ施設維持等資本費の過大が悪化の要因である。

病院、下水道事業に対する一般会計繰出し上限額は、今のところ、病院事業は年20数億、下水道は事業赤字分(年約20億超)と考える。

**財政の見直しについて**  
田口久義 議員

財政見直しによる投資的経費が21年度対比で25年度は約半分になるがその要因は、合併後の広域4事業やその他のハード事業が過大であったこと。今後は半分になるというよりは、適正な投資的経費になるという解釈。

上水道事業の経常収支比率が年々悪化。水道料金引上

**財政見直しについて**  
佐藤 恵喜 議員

①補完性の原理、三助の精神は行政に依存するよりは自己責任を説くものなのか。

②合併後20年先まで中長期財政計画を示し、冷静な対策を求める。

③指定管理の適切な運用を求める総務省通知があったが、改善を図っているか。

①「自助」「共助」「公助」の連携で地域力を蓄えるのがこれからの時代と考える。

②33年度には地方交付税は一本算定に移行し、相当の減額が見込まれる。財政基盤の確立と質の高い行政運営が求められる。各種計画の整合性を図りながら取り組む。

③管理業務の確実な実施と安心して働ける労働条件を確保し、住民福祉のより一層の向上に努める。





- 公共施設等維持補修基金積立金 3億6,000万円
- 国のきめ細かな交付金を活用した事業費 6億1,856万円  
迫庁舎改修事業、病院事業医療機器整備事業、市道改良舗装事業、学校施設冷暖房設備整備事業など36事業。
- 住民生活に光をそそぐ交付金を活用した事業費 2,671万円  
歴史博物館施設整備事業、視聴覚センター改修事業など4事業。
- 登米市ふるさと基金積立事業費 1億4,219万円  
住民生活に光をそそぐ交付金を活用し、平成23・24年度実施予定事業費をふるさと基金へ積立を行うもの。
- 認可保育所運営費 3,502万円  
認可保育所入所児童の増に伴う運営費。
- 情報化推進費 Δ3,076万円
- 道路新設改良費単独事業費 Δ1億8,037万円

- 登米市定住促進条例の一部を改正する条例
- 道路橋梁費10億1448万円

### 一般会計補正予算の主なもの

〔△は減額〕

- 公共施設等維持補修基金積立金 3億6,000万円
- 国のきめ細かな交付金を活用した事業費 6億1,856万円  
迫庁舎改修事業、病院事業医療機器整備事業、市道改良舗装事業、学校施設冷暖房設備整備事業など36事業。
- 住民生活に光をそそぐ交付金を活用した事業費 2,671万円  
歴史博物館施設整備事業、視聴覚センター改修事業など4事業。
- 登米市ふるさと基金積立事業費 1億4,219万円  
住民生活に光をそそぐ交付金を活用し、平成23・24年度実施予定事業費をふるさと基金へ積立を行うもの。
- 認可保育所運営費 3,502万円  
認可保育所入所児童の増に伴う運営費。
- 情報化推進費 Δ3,076万円
- 道路新設改良費単独事業費 Δ1億8,037万円

- 中小企業振興資金の貸付件数、融資総額はいくらか。  
A 101件で10億6492万円である。今回は、4件で221万3000円の代位弁済した市の負担分の計上である。
- 特定検診で2500万円の不用額の要因は。  
A 入札の結果、平均単価が1000円ほど下がり、受診者が1094人減少していることによる。

### 中小企業振興対策

万円の繰越明許費の内容は。  
A 単独事業費が6・3億円（長沼工業団地道路2・9億円等）補助事業3・8億円であり、用地関係の原因によるもの。

### 国保会計

融資枠の3分の1しか消費されていないがPR不足ではないか。  
A 商工会と連携をし、有効に活用いただいている。

## 一般会計

住民生活に光をそそぐ交付金、きめ細かな交付金

- 公共施設維持補修に3・6億円、ふるさと基金に1・4億円、病院に2億円、総額で7・8億円の予算であるが市民生活に直結していないのではないか。  
A 学校、図書館、保育所、デイサービス施設等にも対策し、地域ニーズに配慮した。
- 迫庁舎修繕約1億円の考え方と具体的な内容は。  
A 将来方向については、政策推進会議で課題整理をしている。今回の修繕は、エレベーターの更新と雨漏り、亀裂補修、内装等である。
- 安心・安全の視点から庁舎や教育施設のユニバーサルデザイン化について配慮しているのか。  
A 社会教育施設や庁舎の玄

## 道路改良費等の減額

- 単独事業で1・8億円減額しているが、要望されている路線の改良工事に流用できないのか。  
A 請け差や用地交渉の不調により不用額が発生したが制度上できないので、緊急性も考慮し予算措置をしていく。

# 22年度補正予算審議



## 議案審議

2月定例会で審議された内容のいくつかを要約してお知らせします。

だれもが活き生きと暮らせる登米市男女共同参画推進条例の制定

- 登米市の条例の特性的なところは。  
A 国籍にかかわらず個人として尊重されることや県内では初めての規定となる性同一性障害関係。仕事と家庭生活が両立できるワーク・ライフ・バランス等である。
- 基本計画の策定スケジュールはどのようになっているのか。  
A 今後アンケート等を定期的に実施し、7月までには基本計画をまとめたい。
- 審議会の女性の登用は。5割を超える登用を考えている。

### 財産処分の変更

提案理由 国道45号登米志津川道路（三陸道）工事に伴う、東和町米谷地区の土地・立木を追加処分するため、議決(22年第1回臨時会)とした契約の内容を変更するもの。

○保安林解除での計画変更だが、現地確認など事前の検討が不十分ではなかったか。  
A 山林管理の中で協議してきたものであり、最終的に保安林解除の面積が多いと決定されたことによるものである。

反対討論  
市民から委託された大切な土地の売買であり、議会も現地調査をし、検討すべきではないか。それが不足している。  
菅原幸夫議員

(起立多数で原案可決)

### 登米市定住促進条例の一部を改正する条例

- 解雇された方が入居する場合、連帯保証人は必要か。  
A 連帯保証人は必要なく、6カ月の期間を定め、敷金なく利用していただく。
- 提案理由 解雇などにより住居の退去を余儀なくされた者へ、一定期間提供することができるよう、条例の一部を改正するもの。

2月定例会での審議結果(意見が分かれた議案について掲載しました)

議員名	議決結果	採決結果																																		
		賛成	反対	金野静男	工藤淳子	小野寺金太郎	武田節夫	遠藤音	阿部正一	佐々木一	田口政信	及川長太郎	浅野敬	菅原幸夫	二階堂一男	相澤吉悦	浅田修	伊藤吉浩	庄子喜一	関孝	田口久義	佐藤恵喜	及川昌憲	佐藤尚哉	沼倉利光	岩倉勝	岩淵勇一	中澤宏	伊藤栄	熊谷憲雄	岩淵正宏	八木しみ子	星順一			
財産の処分の変更（国道45号登米志津川道路工事に伴う処分する財産の地積等の変更）	可決	28	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

第1回臨時会での審議結果

登米市学校給食センター再配置計画(案)の凍結・見直しを求める請願書	不採択	6	21	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	欠	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議
県立高校再編に伴う登米地区総合産業高校に専攻科設置を求める意見書	可決	21	6	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

※採決結果欄 ○…賛成、×…反対、欠…欠席、議…議長。



# 会派代表質問

2月定例会において、市長から23年度の施政方針が表明され、4会派の代表が質問をしました。内容を要約してお知らせします。

## 問 市民満足度の低い医療体制を問う

## 答 各医療機関との連携強化を図る



登米フォーラム  
沼倉 利光 議員

**問** 総合計画実施計画、第二次行財政改革大綱及び実施計画が示された。各計画の市民の満足度を高めるための施策の柱は、行財政改革大綱の実施計画に、人事の配置図が示されていない。総合計画の策定で6年後の28年度の財政計画を示す位の綿密さが必要と思うがどうか。

**答** 「働く基盤づくり」「安心して暮らせる地域づくり」「自立への取り組み」の3つの柱を示した。職員の人配置図は作成していない。財政計画は財政制度の見直しや動向を考慮し、向こう3カ年分を作成している。

**問** 農業総生産額の一日一億円の見込みは。満足度が一番低い医療では、安心して受けられる体制について伺う。今後の職員体制について、市民や職員にも示すべきと思うが。コンビニでの印鑑証明等の発行について、設置費6800万円、経費950万円、利用者見込み2800人となる。単純計算で一人3500円以上の経費がかかり、2000円の収入に対する費用対効果を伺う。

**答** 農業総生産額は22年は約310億円で、米は前年比約12億円の減で122億4000万円、畜産等が増えたが全体的には365億円は厳しい状況にある。医療については各機関内のスタッフ、地元医師会の先生との連携強化を図る。職員体制は28年までの職員数を配置しながら事務執行をする。コンビニ発行は、今後の電子時代に必要ならサービスと認識する。

## 問 七年目の市政運営をどうする

## 答 人と人、組織と組織を重視する



登米みらい21  
田口 政信 議員

**問** 基本方針に「働く基盤づくり」「安心して暮らせる地域づくり」「自立への取り組み」の3つの柱を掲げ、地域づくりや基礎自治体の取り組みに『補完性の原理』という概念を取り入れた真意は何か。

**答** この原理は、欧州連合の創設を定めた条約にも盛り込まれた自治の考え方で意思決定や自治は最小単位で行い、出来ないことだけ大きい単位の団体に補充していくという概念である。自助、共助、公助の精神に通ずる。

**問** 415億円の予算のうち自主財源を高める施策は。自主財源をどう確保する

**答** 行財政改革や市税の徴収率の向上、遊休財産の処分に取り組み、企業誘致や産業振興で市民所得向上施策に取り組む。

## 問 平成23年度施政方針について

## 答 市民の視点に立った行政運営を推進する



新・立志の会  
遠藤 音 議員

**問** 23年度予算が真に市民とともに行動し、自立に向けた予算組みなのか質問する。まず予算編成方針で昨年同様、枠配分方式の編成を行っているが、人件費を含めた総枠配分方式にした方が、本来の現場のニーズに即した予算配分になるのではないか。

**答** 緊急雇用対策事業を活用し、生産から販売に至るまでを検証して事業化に向け取り組んでいく。

**問** 2つ目の「安心して暮らせる地域づくり」では、市民の最大の不安は地域医療であり、市民の市立病院離れ、経営の危機的状況をどう改革するのか。

**答** 登米市産の生産から販売までの戦略はどう構築されるのか伺う。

## 問 大規模給食センター凍結を

## 答 老朽化の問題は限界に



日本共産党市議団  
佐藤 恵喜 議員

**問** どのような学校給食をつくるかは、市政の重要課題。ところが市長は、このことを何もつかんでいない。調理の民間委託を進め、今度はセンター方式を一層大規模にする計画案を、市民に説明しないまま強引に進めようとしている。あまりにも一方的だ、話し合いを持ってほしい、その間は予算の執行を凍結してほしい、市民のしごく当たり前に素朴な意見に市長はどう答えるのか。

**答** 関係する代表者に一定の説明は尽くした。老朽化の問題から、一日も早く適正な環境を確保したいのでご理解を。

**問** PTA連合会で10分か15分間の説明で、説明したことになるのか。

**答** しっかりとした説明の機会を指示している。

## 市営住宅の家賃減免を

## 問 法や市条例で、家賃の減免を定めているが、適用は数件。市営住宅の入居者は低所得階層だ。一日も早い制度の適用を。

**答** 当時の場合、(東松島市のような)要綱がないので、要綱を検討する。



# 市政

# こころが聞きたい

一般質問は、2月25日から5日間、18人の議員が登壇し、当面する市政の課題について活発な議論が行われました。  
 (紙面の都合により内容を要約してお知らせします)  
 ※ 議会ホームページで録画中継をご覧いただけます。

## 一般質問



防災拠点の「登米市消防防災センター」

### 問 地域住民からの要望、実施すべし

### 答 整備の優先順位を定め実施する



相澤吉悦 議員

**問** 登米市になってこれまでの6年間に防災センター、登米市斎場を初め計画していた多くの事業

**答** 実施され完成した。しかし、地域住民、市民から寄せられた要望はさまざまで、特に道路関係、地域に密着した事業が多く要望されている。今までのように事業を実施してきたのか、大きい事業も実施すべきと思うが、

は、路線の立地条件、性質、整備の緊急性、必要性、整備に必要な財源などの確保と調整を行って事業計画を作成し、市総会計画の実施計画に計上して事業を実施している。今後の整備方針としては、これまで要望された生活道路の現況評価、課題調査を行い、路線ごとの道路評価を実施し、整備の優先順位を定め整備していく。

**問** 消防団にデッキバンを交付されても団員が少なく、有効活用ができない分団もあると思う。今後デッキバンを交付するにあたり、分団と協議し交付すべきと思うが、

**答** 団員不足や被雇用者団員の増加による消防力の低下が懸念されている。昨今、地域に密着した消防団活動の充実強化を図っていくためにも、施設整備や車輛の配備においては、今後も支団並びに分団と十分な協議の上に進めていく考えである。

### 問 市内の空き家対策は

### 答 先ずは空き家の登録を増やしたい



佐藤 勝 議員

**問** 市内各地で空き家が目につく。全国的にも年間20万戸の割合で増加し、治安や環境悪化等の

**答** 社会問題になりかねない。①市内の空き家を総点検し空家台帳を作成しては、②売却や賃貸を希望する場合、不動産業界との連携でネットや住宅情報誌に積極的な情報発信を。③使用不能となった建物は所有者に早期撤去を勧告すべきでは。

**問** ①市内の空き家は

2330戸で空き家率8・8%である。台帳に替え、消防の「地図検索装置」で情報を取得し活用していく。

**問** 2市で実施中の「空き家情報バンク」のPRを広く行い、先ずは空き家の登録を増やす必要がある。

**答** ③道路など公共空間を閉塞する恐れのある場合考えられる。

**問** 市内産木材の需要拡大策について

**答** 本年は国際森林年に

あたり、森林・林業の再生、発展に向けた取組みが期待される。そこで計画中の学校や給食センターなど大規模建設事業には、最大限市内産材使用の木質化を図るなど林業の振興施策を提案する。

**問** 本市の総面積の41%が森林で、林業の活性化に向け市内産材の需要拡大が大変重要である。予定している学校などの建築には、内装木質化の推進など市内産材を最大限利用したい考えである。



地場産材の切り出し作業

### 問 市立病院医療改革の動向を問う

### 答 職員一丸で経営改善に向け行動



浅野 敬 議員

**問** 3病院の目指す姿は

**答** 佐沼は、登米市民病院と名称変更。中核的病院として、入院医療を中

心に急性期医療を担う。豊里は、慢性期医療・在宅医療を中心の病院に。米谷は、登米市の地域医療体制の一面を担う現況を直視し、25年度以降の体制は、地域医療が引続き守れる方策を検討する。

**問** 所信表明で宣言した二次医療を自前でやる体制をつくるのに、

およそ何年要するか。

**答** 全国的な医師不足と本市の医学奨学生との関係等からして、10年を最大の努力目標と見込む。

**問** 一医学生奨学金制度に關連して、奨学生が卒業後、全員が登米市に勤務すると見て良いか。

**答** 23年に1名、24年に1名、26年に1名と予定され100%に近い形で招聘に努力する。奨学生に限らず、様々なルートを通じて、医師招聘の具

体的行動を重ねていく。

**問** 二次医療まで完結できる体制を築くのに要する今後10年〜15年間の市立病院勤務の少ない医師等難しい条件下で、地域医療を守り、難局を凌ぐためにも、改革プラン上の2病院体制より3病院体制が現実的で、効果的と思うが、

**答** 市民の安心・安全に直結する問題であり、総合的に検討し、結論を出す。



地域医療を守る市立豊里病院





協働のまちづくり交付金を活用した豊里地域づくり講演会

**問** 基本方針策定に当たっての考え方は



浅田 修 議員

**答** 住んでよかつたと思える街づくり  
踏まえ、課題の中で、早急に解決すべき事業を政策公約として示した。目指すべき最終目標は市総合計画に定める登米市の将来像であり、住んでよかつたと思える街づくりである。達成状況は、約7割の事業が予定通り進捗している。



**問** どうする、農家所得の激減対策



田口久義 議員

**問** 農政局公表による稲作兼業農家の2009年度農業粗収入平均が268万円で、生産費を引い

**答** 生産コスト低減と付加価値販売で  
た純益が56万円とある。これに農外収入平均116万円全てを加えても172万円にしかならない。この現実を市としてどう捉え、どう支援するか。  
**答** 仮渡金の激減部分は国の戸別補償で埋め合わせ、低い所得の現実については直播栽培等による生産コストの低減と、高

**健康づくりについて**  
**問** 医療費の問題は、家庭の崩壊、地域の崩壊、更には市の崩壊の危機とあわせ大きな社会問題となっている。そこで、なぜガンになるのか、なぜ生活習慣病になるのか、なぜ子供のアレルギーを含め難病が増えてきているのかを検証する必要があると考えるが。

**答** 生活習慣病は医療費の4分の1を占めている。本市として、病気の



健康づくりは健診から

**問** 不適正決算の株主としての対処は



岩淵正宏 議員

**問** 12月の決算議会で、株式会社いしこしの決算書不適正報告があったことと、監査委員から出資

**答** 社長と監査役2名の退任報告があった。市として、株主総会まで体制を整えながら、しっかりとした責任処分をするようお願いした。例えば、退任をしない取締役についても責任を求めていく。再発防止策と経営改善に当たっては、従前にもまして取り組むことが大切と考える。  
**問** テーマパークの経営に長けた人材の登用や民間譲渡、指定管理者の再公募を含む、新たな運営

**答** 生産コスト低減と付加価値販売で

付加価値化による販売額の確保で取り組みたい。  
**問** 低所得稲作農家に対する、市独自の具体支援策はもっていないか。  
**答** 厳しい現実を認識している。米の販売について産経部に「登米産米販売促進専門監」を配置したところであり、今後有利販売に取り組みたい。  
**問** どう守る地域医療  
**問** 臨床研修医受け入れ指定病院への構想は。  
**答** 研修医の指導医が少ないこと等、単独で指定病院となることは困難。  
**問** 奨学金制度とともに医師招聘の観点からは近道と思うが、将来像は。  
**答** 当面は東北大学病院等の協力病院としての研修医受け入れを充実する。将来的には単独の指定に向け条件整備したい。  
**問** その他の質問  
● 集落営農の推進を  
● 給食供給全地場産を  
● 協働の意義は



臨床研修医受け入れ指定となっている栗原中央病院

**問** 登米市総合産業高校に専攻科を



佐々木 一 議員

**問** 市内4つの高校を新たに1つに再編し、開校予定の総合産業高校の進捗と今後のスケジュール

建設工事を行い、27年4月に現上沼高校の敷地内に開校予定である。専攻科の設置については、県の検討事項であり、今後も全力を上げて要請していく。  
**無償のネーミングライツ導入について**  
**問** 住民や企業に愛情を持って面倒を見ていた。だが、あまり条件を付けず活用しやすい制度に改めるべきではないか。  
**答** まちづくり基本条例策定作業の中で検討していく。  
**協働のまちづくり交付金制度を検証せよ**  
**問** 各旧町域に100万円ずつ交付する制度だが、あまり条件を付けず活用しやすい制度に改めるべきではないか。  
**答** まちづくり基本条例策定作業の中で検討していく。





長沼工業団地に建設が進む「トヨタ東北」の新工場

問 夏川堤防改修を急げ

答 29年以降でないと築堤できない



金野静男 議員

問 夏川改修事業は、19年に橋向橋上流2300...

が、今後の見通しを伺う。答 夏川上流の河川改修は、石越北部のほ場整備が21年に終り、工事竣工後8年間は補助金の適法が適用され、29年7月以降でないと河川改修ができない状況である。計画は、長沼ダムが24年に完成予定で、その後には家屋移転等、夏川の築堤を



東日本大震災で救援物資を運ぶ市職員

問 急激な職員削減は市政に悪影響！

答 事務量を改善し見合った職員数に



二階堂一男 議員

問 今後5年間で進められる定員適正化計画では、28年4月1日まで1356人と18年度比61%

4人31%の減となっている。急激とも思える削減は職員への過重負担と市民サービスの低下にならないか伺う。答 18年度から5年間で、目標の240人を上回る357人の削減になる見込みで、第二次計画では、総務省の地方公共団体定員管理研究会が新たに示した「定員回帰指標」を基に今後5年間で257人を削減目標とする。削減に向けた取り組みとして、事務事業のアウトソーシングや指定管理者制度の活用など市民団体と行政が協力して公共サービスを担う仕組みづくりを進めていく。各種諸証明のコンビニでの交付を実施するなど市民の利便性の向上を図るとともに、事務処理の徹底した改善を図り、その事務量に応じた職員の配置に



夏川堤防の草刈作業

より定員管理の適正化に努めていきたい。

問 河川敷等における木の伐採について。

答 河川愛護会と連携調整を図り、愛護会活動を支えるとともに、河川管理者に対し、財源確保も含め、管理の徹底について強く要望していく。

問 各種集会所における地デジ対策について

答 合併時の確認しており、集会所での地デジ対策は各行政区での対応をお願いしたい。

問 保健師のブロック化は

答 総合的に検討していく



工藤淳子 議員

問 第二次行財政計画の「保健部門の業務のブロック化」は、保健師のブロック化と考えられる。

保健師の果たす役割からすると、町域ごとに必要であり、保健師がもっと地域に出ていけるよう、事務業務の改善が必要ではないか。答 保健部門は乳幼児健診・予防接種事業の5ブロックを4ブロックに、特定健診やがん検診についても受診率向上を分析

高卒者の就職支援は

問 高卒者の厳しい就職状況に向け、学校・企業間の情報交換を定期的

しながら検討していく。保健師のブロック化は、総合的に検討していく。高卒者の就職支援は、現状に向け、学校・企業間の情報交換を定期的実施し、行政に橋渡し役を求め、「雇用協議会」を設置し、安定した雇用を目指す努力をすべきではないか。答 当面、新たな「雇用協議会」の設置にこだわらず、個別の支援事業や

「里地里山法」の取り組みは

問 この法律は23年の施行予定で、地域ごとに市町村が中心となって協議

既存の会議の充実による支援を行っていく。答 18年度から5年間で、目標の240人を上回る357人の削減になる見込みで、第二次計画では、総務省の地方公共団体定員管理研究会が新たに示した「定員回帰指標」を基に今後5年間で257人を削減目標とする。削減に向けた取り組みとして、事務事業のアウトソーシングや指定管理者制度の活用など市民団体と行政が協力して公共サービスを担う仕組みづくりを進めていく。各種諸証明のコンビニでの交付を実施するなど市民の利便性の向上を図るとともに、事務処理の徹底した改善を図り、その事務量に応じた職員の配置に



高齢者健診結果説明会

問 市内企業の育成支援は

答 企業誘致支援、商店の活性化を図る



菅原幸夫 議員

問 ①登米市は弱電関連の企業誘致を進めていると思うが②企業誘致とともに地元事業所の育成助

成すべきと考え、③自営業者はもうからない苦しい経営だと話すが、今後の支援等伺う。答 ①宮城県は重点的に集積する3つの産業を市町村単位に指定し、登米市は自動車関連産業及び食品関連産業となっている。「トヨタ東北株式会社」を含む3社の進出

が決定した、長沼工業団地の実現も大きな要因のひとつである。弱電関連企業の登米市進出に関して情報は得ていない。②企業誘致はトップセールスとして自動車産業に限らず継続的に取り組んでいく。市内企業の育成・支援については、誘致企業と既存企業の新規取引が望ましいと考えており、昨年10月市産業振興会と経営者協会の会員で、豊田鉄工の額田工場を見学。12月自動車産業

振興協議会を設立、受注機会の拡大を目指し「ビジネスマッチング」「ふるさと食材見本市」を開催。新規取引開拓を進めている。③自営業者は依然厳しい現状であり、資金繰りの円滑化・融資枠の増額・借り換えも可能な資金。その他、保証料の全額負担や支払子の2分の1補助を継続する資金融資施策を行い、23年度に商店街等活性化アドバイザー派遣事業を実施する。





市内を雄大に流れる北上川

**問** 郷土の自慢は市内ど真中を雄大に流れる北上川。川幅があり起伏がなく清流であり日本のライ



伊藤 栄 議員

オン川と言われる。観光や水辺スポーツ等で活かす方策はないか。

### 問 北上川活用の方策は 答 地域資源として活かしたい

**問** 郷土の自慢は市内ど真中を雄大に流れる北上川。川幅があり起伏がなく清流であり日本のライ

**答** 市内5カ所に船着き場が設けられており、それらを利用して北上連邦等は春秋とクルージングを実施し参加者から好評を得ている。市内観光コースの中で可能性を探っていききたい。また、穏やかに流れであり、大学ポーター部等が訪れた際、高い評価をいただいたことから、今後関係者の方々と地域資源の活用として考えていきたい。

**問** 米の販売専門監は

**答** 市内産米は市場でも高品質で高い評価を得ている。県、仙台市では中国やASEAN諸国等に積極的に商談会を開催していることから連携をとって欲しい。また、本県で初めて市内産牛肉が輸

**問** 米の販売専門監は

**答** トップセールスの重要性を認識するとともに、農家所得向上のために市として米の販売専門監を配置した。決して安売りに競争に参入するのではない。また、NHKで放送された栽培方法は、市内でも充分素地はあり、今後の課題として取り組んでいきたい。

**問** 地デジ受信機が普及するまでアナログ放送を延長するよう国に働きかけていただきたい。



佐藤尚哉 議員

**答** 地デジ難視世帯は、696戸である。国やNHKは共同アンテナを設置する。市の補助制度を設けて整備する。7月24日を先送りするのはできないだろうと考える。

**問** 地上デジタル放送は延長を

### 問 地上デジタル放送は延長を 答 できないだろうと考える

**問** 郷土の自慢は市内ど真中を雄大に流れる北上川。川幅があり起伏がなく清流であり日本のライ

**答** 市内5カ所に船着き場が設けられており、それらを利用して北上連邦等は春秋とクルージングを実施し参加者から好評を得ている。市内観光コースの中で可能性を探っていききたい。また、穏やかに流れであり、大学ポーター部等が訪れた際、高い評価をいただいたことから、今後関係者の方々と地域資源の活用として考えていきたい。

**問** 米の販売専門監は

**答** トップセールスの重要性を認識するとともに、農家所得向上のために市として米の販売専門監を配置した。決して安売りに競争に参入するのではない。また、NHKで放送された栽培方法は、市内でも充分素地はあり、今後の課題として取り組んでいきたい。

**問** 郷土の自慢は市内ど真中を雄大に流れる北上川。川幅があり起伏がなく清流であり日本のライ

**答** 市内5カ所に船着き場が設けられており、それらを利用して北上連邦等は春秋とクルージングを実施し参加者から好評を得ている。市内観光コースの中で可能性を探っていききたい。また、穏やかに流れであり、大学ポーター部等が訪れた際、高い評価をいただいたことから、今後関係者の方々と地域資源の活用として考えていきたい。

**問** 郷土の自慢は市内ど真中を雄大に流れる北上川。川幅があり起伏がなく清流であり日本のライ

**答** 市内5カ所に船着き場が設けられており、それらを利用して北上連邦等は春秋とクルージングを実施し参加者から好評を得ている。市内観光コースの中で可能性を探っていききたい。また、穏やかに流れであり、大学ポーター部等が訪れた際、高い評価をいただいたことから、今後関係者の方々と地域資源の活用として考えていきたい。

**問** 郷土の自慢は市内ど真中を雄大に流れる北上川。川幅があり起伏がなく清流であり日本のライ

**答** 市内5カ所に船着き場が設けられており、それらを利用して北上連邦等は春秋とクルージングを実施し参加者から好評を得ている。市内観光コースの中で可能性を探っていききたい。また、穏やかに流れであり、大学ポーター部等が訪れた際、高い評価をいただいたことから、今後関係者の方々と地域資源の活用として考えていきたい。



石越に整備中の特別養護老人ホーム

**問** 郷土の自慢は市内ど真中を雄大に流れる北上川。川幅があり起伏がなく清流であり日本のライ

**答** 市内5カ所に船着き場が設けられており、それらを利用して北上連邦等は春秋とクルージングを実施し参加者から好評を得ている。市内観光コースの中で可能性を探っていききたい。また、穏やかに流れであり、大学ポーター部等が訪れた際、高い評価をいただいたことから、今後関係者の方々と地域資源の活用として考えていきたい。

**問** 郷土の自慢は市内ど真中を雄大に流れる北上川。川幅があり起伏がなく清流であり日本のライ

**答** 市内5カ所に船着き場が設けられており、それらを利用して北上連邦等は春秋とクルージングを実施し参加者から好評を得ている。市内観光コースの中で可能性を探っていききたい。また、穏やかに流れであり、大学ポーター部等が訪れた際、高い評価をいただいたことから、今後関係者の方々と地域資源の活用として考えていきたい。

**問** 郷土の自慢は市内ど真中を雄大に流れる北上川。川幅があり起伏がなく清流であり日本のライ

**答** 市内5カ所に船着き場が設けられており、それらを利用して北上連邦等は春秋とクルージングを実施し参加者から好評を得ている。市内観光コースの中で可能性を探っていききたい。また、穏やかに流れであり、大学ポーター部等が訪れた際、高い評価をいただいたことから、今後関係者の方々と地域資源の活用として考えていきたい。



周辺整備が求められる三陸道登米IC

**問** 郷土の自慢は市内ど真中を雄大に流れる北上川。川幅があり起伏がなく清流であり日本のライ



岩淵勇一 議員

**問** 郷土の自慢は市内ど真中を雄大に流れる北上川。川幅があり起伏がなく清流であり日本のライ

**答** 市内5カ所に船着き場が設けられており、それらを利用して北上連邦等は春秋とクルージングを実施し参加者から好評を得ている。市内観光コースの中で可能性を探っていききたい。また、穏やかに流れであり、大学ポーター部等が訪れた際、高い評価をいただいたことから、今後関係者の方々と地域資源の活用として考えていきたい。

**問** 郷土の自慢は市内ど真中を雄大に流れる北上川。川幅があり起伏がなく清流であり日本のライ

**答** 市内5カ所に船着き場が設けられており、それらを利用して北上連邦等は春秋とクルージングを実施し参加者から好評を得ている。市内観光コースの中で可能性を探っていききたい。また、穏やかに流れであり、大学ポーター部等が訪れた際、高い評価をいただいたことから、今後関係者の方々と地域資源の活用として考えていきたい。

**問** 郷土の自慢は市内ど真中を雄大に流れる北上川。川幅があり起伏がなく清流であり日本のライ

**答** 市内5カ所に船着き場が設けられており、それらを利用して北上連邦等は春秋とクルージングを実施し参加者から好評を得ている。市内観光コースの中で可能性を探っていききたい。また、穏やかに流れであり、大学ポーター部等が訪れた際、高い評価をいただいたことから、今後関係者の方々と地域資源の活用として考えていきたい。

**問** 給食センター再配置整備計画(案)が提示された。食育、アレルギー対応の取り組み、地産地消



及川昌憲 議員

**問** 給食センター再配置整備計画(案)が提示された。食育、アレルギー対応の取り組み、地産地消

**答** 単独方式の優位性を認めながら、センター方式でもその理念を十分取り入れた対策を取るべきと考える。また、命を育む農業の価値をしっかりと伝えることが重要と考える。我が会派として給食センターの名称を「子供の命を育む食工房」に強く要望する。

### 問 望む!!給食センターから食工房に 答 楽しく学ぶ取り組みを

**問** 給食センター再配置整備計画(案)が提示された。食育、アレルギー対応の取り組み、地産地消

**答** 単独方式の優位性を認めながら、センター方式でもその理念を十分取り入れた対策を取るべきと考える。また、命を育む農業の価値をしっかりと伝えることが重要と考える。我が会派として給食センターの名称を「子供の命を育む食工房」に強く要望する。

**問** 給食センター再配置整備計画(案)が提示された。食育、アレルギー対応の取り組み、地産地消

**答** 単独方式の優位性を認めながら、センター方式でもその理念を十分取り入れた対策を取るべきと考える。また、命を育む農業の価値をしっかりと伝えることが重要と考える。我が会派として給食センターの名称を「子供の命を育む食工房」に強く要望する。

**問** 給食センター再配置整備計画(案)が提示された。食育、アレルギー対応の取り組み、地産地消

**答** 単独方式の優位性を認めながら、センター方式でもその理念を十分取り入れた対策を取るべきと考える。また、命を育む農業の価値をしっかりと伝えることが重要と考える。我が会派として給食センターの名称を「子供の命を育む食工房」に強く要望する。

**問** 給食センター再配置整備計画(案)が提示された。食育、アレルギー対応の取り組み、地産地消

**答** 単独方式の優位性を認めながら、センター方式でもその理念を十分取り入れた対策を取るべきと考える。また、命を育む農業の価値をしっかりと伝えることが重要と考える。我が会派として給食センターの名称を「子供の命を育む食工房」に強く要望する。



「子供の命を育む食工房」に



問「自立への取り組み」市の未来像は



八木しみ子 議員

答 市民との協働を基本に据え取り進む

市長は自立への取り組みを柱に掲げているが人口減少と社会経済情勢からして住民自治を確立

答 多くの課題解決には市民との協働が欠かせない。市民との協働が欠かせない。市民の主体的な取り組みに対し行政がパートナーとして関わる関係が、市政に参画する重要なことであり、地域自らの力や行政と協働で実現できる事業によって、自治意識が向上し行政への関心に結びつくこと認識している。現在、登米市まちづくり基本条例の制定に取り組みしており、地域交付金の活用を通して協働への認識と地域自立の機運を高めていきたい。

環境教育事業は

問 本市の取り組み状況と事業推進について問う。

答 宮城教育大学などの協力で講座等の環境教育事業を行っているが、今後も市民や団体、事業者の皆さんが環境への理解と保全活動の意欲増進のため内容充実を図る。市内の学校では環境教育担当教員を公務分掌に位置づけ、教育活動全体を通して様々な環境教育に取り組んでいる。



新たな米谷の祭を目指して

問 計画に市民の声がなぜ届かない

答 検討・構想段階から意見をいただく



関 孝 議員

問 学校統廃合、病院再編、給食センター再配置など、市の重要な計画のほとんどは、行政が方向性を決定し、市民に説明会を開催することを例としてきた。しかし、市民は納得され納得させられることはあっても、まちづくりに参加したことにならない。市民の声を具体的に反映させる行政システムを構築すべきだ。

答 懇談会や意見交換会などを積極的に開催し、市民に説明会を開催することを例としてきた。しかし、市民は納得され納得させられることはあっても、まちづくりに参加したことにならない。市民の声を具体的に反映させる行政システムを構築すべきだ。

学校給食センター再配置計画の課題

問 食育の推進は学校給食の重要な目的。どう充実強化していくのか。

答 栄養教諭の配置をすすめる。各学校で全体計画を定めており、学校全体での取り組み体制を更につくり上げていく。

問 命にかかわる食物アレルギーの対応は。

答 災害時に炊き出しなどができるような備えを。災害時でも市民生活を支えられる拠点となる施設にしたい。

問 市長の判断は間違いではないのか

答 県の指示に従った



阿部正一 議員

問 東北道築館から三陸道登米までの横断高速道路は本市にとって長年の悲願ではなかったのか。

答 建設費の抑制、工事事業費や整備に時間と費用がかかること、また県からの指示があったことから、高速道路を一般道に格下げをしたとある。100年200年先の本市の経済を考えると、この格下げをした市長の判断は大きな間違いだと思いがどうか。

海外市場について

問 今回、マカオに仙台日高見牛が輸出され、高く評価されているが取り組みが遅いのではないかと感じる。これから地方は自立しなければならぬ時代に入る。そこで各国の市場へ本市の農畜産物を直接取り引きができるよう、職員を派遣してはと思うが、

答 非常に難しいが、その方向に向けて頑張る。

スポーツ施設について

問 今、硬式球場、パークゴルフ場、サッカー場、室内ゲートボール場、陸上競技場、武道館、弓道場等の施設整備を強く要望がある。市長はスポーツ施設整備について、本気で取り組む気はあるのか、考えを伺う。

答 スポーツ審議会の話しを聞き、指摘があったことに取り組んでいく。



三陸道への接続が待たれる

第1回臨時会

意見書

公益に関わる意見書案が提出され、審議の結果可決しました。

- 患者の窓口負担大幅軽減を求める意見書
○支部管内における司法機関の機能充実を求める意見書
○県立高校再編に伴う登米地区総合産業高校に専攻科設置を求める意見書

陳情

議員発議による決議が提出され、審議の結果可決しました。

- 飲酒運転根絶の宣言に関する決議

請願

請願2件について、付託先の常任委員会から請願審査結果が提出され、審議の結果、委員長報告のとおり、1件を採択、もう1件を不採択としました。

- 【採択した請願】
○民俗芸能の保存と活用に関する請願書
【不採択とした請願】
○登米市学校給食センター再配置計画（案）の凍結・見直しを求める請願書

討論

賛成討論

3月11日の東北地方太平洋沖地震により、小学校、中学校の被害も大きい。教育民生委員会の審議は大震災前の審議・結論であり、給食センターの被害調査も実施されていないことから、再考すべきである。

この地域で子供たちのために、どういう学校給食のあり方がいいのか、食育を含めた中で見直しを考えていただきたい。

佐藤尚哉 議員

(起立少数で不採択)

一般質問の答弁の訂正

平成22年12月定例会の沼倉利光議員の一般質問の答弁の中で、大阪の業者にみやぎ登米農協が米の販売をしていないと受けとられる表現がありました。2月定例会の冒頭に執行部より答弁の訂正があり、販売は行われ、現在も続けられています。情報の共有不足のため不十分な答弁、表現となりました。よろしくご理解の程、お願いいたします。



# あなたの声 市民 メッセージ わたしの提言

ご意見等をお寄せいただきましたので、ご紹介します。

市の「ブックスタート」事業の読み聞かせボランティアに参加している一人です。「語りかける愛情で、赤ちゃんの幸せ広げたい。」と言う理念に感動しています。乳児期から生涯に渡る心豊かで文化的な生活の基礎を築くための市の事業に賛同しています。しかし、これに続く事業がないのが残念です。3歳児、就学前への支援はありません。スタートだけでは不十分です。心の成長に合った本選びのアドバイスはその都度必要なものです。小・中学校の学校図書館への支援も然りです。生涯学習の中核的存在の市立図書館も不十分なサービスです。



みつうら てい子さん (中田)

## 「ブックスタート」から「ブックゴール」まで

0歳児の「ブックスタート」から生涯を終える「ブックゴール」まで、綿密な支援計画策定を望みます。手始めに3歳児を給水ポイントにし、心に潤いを与えるブック事業を望みます。



さとう えみこさん (津山)

今、改めてトップに望むことは、強いリーダーシップをとり、人材を活用して、まず自らがやってみせてほしいと思うのです。未来ある登米市のためにも是非お願いしたいと思います。

## 強いリーダーシップを望む

この度の東日本大震災に被災された皆様に慎んで御見舞申し上げます。登米市の中でも端に位置する津山は、人口も少なく議員も一人と減少した今は、住民の要望が行政に届くのが厳しい現状だと思われま。しかし、この震災で地元の議員は翌日には、被災地へ赴き状況を把握し、衣類・毛布などを被災者の方々に届けておりました。また地区の区長も一早く消防団員と共に住民を公民館に避難させ、その日から一週間共同生活を送りました。この地区では毎年のように自主防災の講習や訓練が行われていましたので、何の疑問もなく従うことが出来たのです。



あべ むつこさん (登米)

## 東日本大震災を経験して

3月11日、生まれて初めてこんなに大きな地震を経験しました。その時は職場である登米幼稚園で、お昼寝中の預かり保育の子数名と一緒にいました。幸い、大半の園児は降園していましたが、預かっている子ども数名を守る為に頭から毛布を被せ、体で覆い、揺れが収まるのを不安な気持ちで待ちました。そして無事に子どもたちを保護者に引き渡した後、室内や壊れた周囲の建物を見て事の大変さに驚きました。その後、町内会の申し出により、園舎を避難所として提供し、近所のお年寄りから小さいお子さんまで、数十名が生活しました。この町内会とは、避難訓練を合同で行い、日頃から交流があったので、速やかに連携を取ることができたのだと思います。この震災を通して、地域の方々との交流と支え合いの大切さを身を持って知りました。

# 地域医療確立に向けて 中間報告

## 地域医療確立調査 特別委員会



2月定例会で報告する沼倉委員長

本特別委員会は、これまで調査、検討を重ねてきた地域医療確立に向けての中間報告をまとめた。(抜粋)

### 改革が進行しない現状

佐沼病院に医師を集約し、地域の中核的な病院に位置づけて地域医療を改革したいとする改革プランが、その当事者となるほとんどの医師から支持されていない。

改革を進展させるためには、トップリーダーの明確な意思と方向性が必要であるが、それがはつきり示されていない。

### 経営の健全化・収益改善策

医業収支の改善策が見えない。赤字の原因は何なのか、収益の改善に何が必要かを詳細に分析し、経営の透明化を図るべきである。一般会計で支え続けなければならない病院経営には限界があり、自立経営が出来なければ病院の存続は難しくなる。経営改善実施計画が示されたが、この取り組みを通じて職員の意識改革が進み、病院が変わるためにもトップのリーダーシップが極めて重要である。

### 今後の市立病院はどうあるべきか

第1に、医療の高度、専門化には全て対応できなくても、まずは救急患者に対応できる1・5〜2次救急の体制を整えること。僻地医療に対する責任をしっかりと果たすこと。

第2に、市も病院当局も総力を挙げ、産科、小児科医の招聘を図り、できるだけ早く入院を再開させること。

第3に、高齢化社会をにらみ、医療、福祉、介護、健康づくりの連携(地域包括ケア)には、病院と診療所が大きな役割を果たすこと。

以上、登米市にとって最低限の必要な医療である。これを限られた医師数の中で実行していく上では、実際に医療を行う医師や看護師だけではなく、開業医との連携、協力、保健師、福祉・介護施設の職員との連携を強力に図らなければならない。つまり、地域丸ごと健康づくり体制をつくることである。

議会改革調査特別委員会で、これまで協議してきた議会改革の内容を「議会基本条例素案」として示し、広く市民の皆様の意見をお伺いするため、「パブリックコメント」や旧町域ごとに「意見交換会」を行ってまいりました。また、1月26日には、「市民とともに歩む議会」をテーマとして、市民の皆さんと討論を行う「議会改革討論会」を行いました。

その後、議会運営委員会などで、今後の進め方が協議されましたが、誠に残念ながら、2月定例会への提案は、時間的に断念せざるを得ない状況になりました。今後、速やかに委員会を開き、残された事項の協議を行い、「登米市議会基本条例」を制定し、新たな登米市議会を始動させてまいります。市民の皆様に、心よりお詫び申し上げますとともに、今しばらく、協議のための時間をいただきますことへのご理解をお願い申し上げます。

# 「議会基本条例」 2月定例会への提案を断念

## 議会改革調査 特別委員会



議会改革討論会



# 常任委員

# 会活動報告

## 総務企画委員会

○12月8日調査  
減債基金積立額について  
市の人口は、5年間で5500人減少した。平成33年度には、交付税が65億円程度減少することが予想され、財源不足にならないよう減債基金の積立は必要である。

その他の調査事項  
男女共同参画推進条例  
行財政改革大綱素案審議  
光ファイバー整備事業

○12月13日調査  
予算編成方針について  
堅実も過ぎれば投資が抑制され、市民の活力は低下する。地域経済は長期低迷の状況にあり、事業に精査を加え、やるべきことを積極的に行うなど、活力ある地域社会の建設を期待する。

○1月21日調査  
定員適正化計画・組織再編・総合支所のあり方について  
全国の48類似自治体の人口1万人当たりの平均職員数90人に対して、本市は130人と4番目に多い状況である。総合支所の有無、消防の広域化、指定管理や保育園の民営化等それぞれの自治体の状況は様々だが、職員の削減は急速に進んでいる。

今後は人口の減少、財政の縮小に対応できる職員、組織体制、サービスの形の全体像を具体的に示し、市民と未来像を共有しなければならぬ。急激な変化に対応するためには、市民の理解と協力が何より大切である。



市民サービスの窓口となる総合支所

## 教育民生委員会

○12月8日調査  
登米市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の特定について  
4出張所の廃止に伴い戸籍、住民票、税証明等の交付を郵便局で行うことができるようにするもので、指定する郵便局は、新田・米谷・錦織・横山の4郵便局。

年間運用経費を考慮しながら、最寄りの郵便局を活用できるよう段階的に検討する必要がある。

佐沼小学校改築概要について  
23年度に校舎・体育館を工事し、25年4月から利用開始となる。建設事業規模がかなり大きく、内装材に地元産の杉をできるだけ多く活用し、環境に優しい校舎建設に努めてほしい。

○12月13日調査  
一般廃棄物最終処分場建設計画について  
現在の最終処分場とその西側に計画の予定地を

○12月14日調査  
地域体育施設の改修を求め、石越総合運動公園内の多目的グラウンドを調査し、審査の結果、採択した。

登米市弓道場の建設についての要望について  
県の新年度予算措置の関係から、市当局に早急な対応を望む。



一般廃棄物最終処分場(豊里)

## 産業経済委員会

○12月8日現地調査  
サンシャイン牛舎施設整備事業、畜産担い手育成総合整備事業、村づくり交付金事業(農道整備)の現地調査を行った。畜産担い手の規模拡大や新規就農の場合にも、初期費用が抑えられ、その効果は大きい。

○12月14日調査  
請願審査について  
住宅リフォーム助成制度の創設に関する請願  
緊急的な経済対策といたった面から、採択することに決定した。

意見書の提出について  
T P Pへ参加した場合本市の一次産業の衰退を招く恐れがあることから「環太平洋戦略的経済連携協定(T P P)に国民的議論と合意もないうまま拙速に参加することに反対する意見書」を提出することにした。

○2月7日調査  
農業者戸別所得補償制度



鉄骨ハウスによるサンシャイン牛舎

水稲生産目標について  
旧町単位の傾斜配分が引き継がれている。根本的な見直しが必要。制度を徹底して行う必要がある。

「新しい食料・農業・農村基本計画」に係る本市関連計画の見直しについて  
本市農業の進むべきビジョンが見えない。単に数値の見直しのみならず、現在の農業情勢に沿った大胆な見直しを望む。

## 建設水道委員会

○12月8日調査  
除雪体制について  
除雪計画路線は車道1036キロ、歩道169キロであり、委託業者は96社である。今年から業者において積雪深の観測を行い、各支所に情報提供を行う体制となった。降雪量は各町域内でも異なる状況にあるので、今後とも迅速で円滑な除雪体制が確立できるよう期待する。

○12月13日調査  
水道料金徴収管理の民間委託状況について  
民間委託されて8カ月が経過した。事務調整会議は毎月1回開催され、給水訓練にも毎月1回参加し、災害応援にも備えていた。収納サイクルを短縮し、給水停止の実施時期を早め、未収金の回収強化も行われ、早期回収と収納率向上に効果が表れていた。しかし、現状さまざまなトラブルが発生している状況にあるので、作業手順の検討を

○12月14日調査  
重ねながらさらなるサービスの向上を望みたい。

○12月14日調査  
市営住宅の管理状況について  
市営住宅は66団地880戸あるが、300戸(約34%)が耐用年数を超えており、老朽化が大きな課題となっている。また、使用料の徴収状況は21年度が81・4%の収納率で未収金額が増加傾向にあり、大きな問題となっている。入居者の状況を十分把握しながら、今後の対策が必要と考え



老朽化した市営住宅

## 議会の動き

- 1月
  - 6日●議会報編集特別委員会
  - 11日●議会報編集特別委員会
  - 全員協議会
  - 13日●地域医療確立調査特別委員会
  - 18日●意見交換会(迫)
  - 20日●議会報編集特別委員会
- 2月
  - 1日●地域医療確立調査特別委員会
  - 7日●産業経済委員会
  - 8日●岩手県一関市議会行政視察来庁
  - 議会改革調査特別委員会
  - 9日●議会運営委員会
  - 10日●地域医療確立調査特別委員会
  - 15日●2月定例会開会(3月18日)
  - 地域医療確立調査特別委員会
  - 17日●議会改革調査特別委員会
  - 18日●議会運営委員会
  - 21日●地域医療確立調査特別委員会
  - 23日●議会改革調査特別委員会
  - 25日●議会運営委員会
- 3月
  - 1日●議会報編集特別委員会
  - 2日●各常任委員会
  - 3日●各常任委員会
  - 8日●議会運営委員会
  - 9日●各常任委員会
  - 10日●予算審査特別委員会
  - 14日●議会運営委員会
  - 予算審査特別委員会
- 21日●総務企画委員会
- 意見交換会(東和・南方・津山)
- 24日●地域医療確立調査特別委員会
- 25日●地域医療確立調査特別委員会
- 26日●議会改革討論会
- 27日●地域医療確立調査特別委員会
- 28日●全員協議会
- 31日●登米市議会・栗原市議会・一関市議会議員交流会